

# 藍住町 議会だより

第68号

平成24年 2月25日

発行 藍住町議会  
編集 議会だより編集委員会  
徳島県板野郡藍住町奥野  
字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



かるたとり大会（藍住北幼稚園）

## 目次

12月定例会	P.2
平成23年度一般会計・特別会計補正予算	P.3
一般質問 ～町政のここが聞きたい～	P.5～8
わたしの一言・議会のうごき	P.10



# 12月定例会

12月議会定例会が12月9日から20日までの12日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。

## 町長提案

- 平成23年度藍住町一般会計補正予算……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)補正予算……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計(藍寿苑介護サービス事業)補正予算……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計(下水道事業)補正予算……………原案可決
- 職員の給与に関する条例等の一部改正……………原案可決
  - ▶ 県人事委員会勧告に基づく改定
    - 給料表について50歳代を中心に40歳以上を念頭に置いた平均0.24%の引下げ
    - 職員の所有に係る住居手当の廃止
  - ▶ 時間外勤務手当等の基礎となる勤務1時間当たりの給与額算出方法の改正
- 教育委員会委員任命の同意……………和田哲雄
- 公共下水道第六処理分区南部支線管渠工事(第4工区)請負契約の締結……………原案可決
  - 請負額 4,443万1,800円
  - 請負業者 株式会社 大日

### 陳

### 情

- ▼ 要請書  
**陳情者** 「なくせじん肺・すべての労災職業病の根絶を」  
 全国キャラバン徳島実行委員会  
 代表 表山 本正 美
- ▼ 5件の陳情があり、議員に配布しました。
- ▼ 消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情  
**陳情者** 全日本年金者組合徳島県本部  
 執行委員長 吉本 茂 則
- ▼ 年金受給資格期間の10年への短縮を求める陳情  
**陳情者** 全日本年金者組合徳島県本部  
 執行委員長 吉本 茂 則
- ▼ 無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3・3万円の支給を求める陳情  
**陳情者** 全日本年金者組合徳島県本部  
 執行委員長 吉本 茂 則
- ▼ 電気設備工事・管設備工事の分離発注推進のお願い  
**陳情者** 徳島県設備業協会  
 社長 栗本 利幸

### 請

### 願

- 1件の請願があり、不採択となりました。
- 住宅リフォーム助成制度を創設し実施することの請願書  
 ……不採択
- 徳島県建設労働組合板野支部  
**請願者** 支部長 平山 隆志
- 紹介議員  
 小川 幸英 議員  
 喜田 敏夫 議員  
 喜田 茂夫 議員  
 林田 修 議員  
 喜田 修 議員

# 平成23年度12月一般会計補正予算

歳入・歳出とも2億5,600万円増額

予算総額 102億8,000万円

主な補正の内容 (1万円未満切り捨て)

## 総務費

- ◆ 道路照明施設工事請負費 ……714万円
- ◆ 藍住町議会議員選挙費 ……195万円

## 民生費

- ◆ 藍翠苑運動場用地取得費 ……3,300万円
- ◆ 補装具給付事業扶助費 ……200万円
- ◆ 障害者自立支援給付費扶助費 ……5,226万円

## 農林水産業費

- ◆ 排水路浚渫用重機等借上料 ……300万円

## 土木費

- ◆ 道路舗装工事費 ……3,000万円
- ◆ 道路の改良・整備費 ……3,900万円

## 消防費

- ◆ 同報系防災無線の蓄電池交換工事費 ……211万円

## 教育費

- ◆ 北小学校遊具、トイレ改修工事費 ……205万円
- ◆ 南小学校遊具更新工事費 ……169万円
- ◆ 藍住中学校備品購入費 ……660万円
- ◆ 藍資料館駐車場用地購入費 ……3,720万円

# 平成23年度12月特別会計補正予算

～補正額と主な補正の内容(1万円未満切り捨て)～

会計名	補正額	補正後の額	主な補正の内容
国民健康保険事業	1億2,000万円	29億200万円	保険給付費 1億280万円 老人保健拠出金 116万円 諸支出金 1,535万円
介護保険事業	6,930万円	19億5,650万円	基金積立金 2,195万円 諸支出金 1,916万円 予備費 3,138万円
藍寿苑介護サービス事業	1,390万円	2億6,690万円	燃料費 135万円 借上料(システム導入) 60万円 予備費 1,050万円
下水道事業	700万円	3億2,100万円	普及促進費 767万円 償還金 △100万円

# 町からの主な報告

## ゆめタウン徳島

本町にとつても念願であった「ゆめタウン徳島」が11月24日にグランドオープンした。

また21日の竣工式に先立ち、協働でのまちづくりの第一歩として「まちづくりに関する協定書」の調印式を執り行った。地権者の方々や町議会を始め、「ゆめタウン徳島」の進出に御協力いただいた全ての方々にお礼を申

し上げたい。

今後、「ゆめタウン徳島」には藍住町の顔として、あらゆる分野でまちづくりに御支援、御協力をいただき、本町のまちづくりの良きパートナーとして、共に協力をしながら歩んでいきたいと考えている。

## 保育所の民間移管

10月15日と19日には東保育所で、10月22日と26

日には西保育所で、保護者、移管先法人、町の三者による第1回三者懇談会を開催し、移管先法人から保育方針や保育内容の説明。また11月30日には、来年度の保育所入所予定者を対象に保育所説明会を開催し説明を行った。

今後は、12月に第2回三者懇談会の開催、1月からは合同保育を予定している。

子どもへの負担が最小限となるよう、合同保育においてきめ細かな引継ぎを行い、移管先法人とともに全力を挙げて移管準備を進めていきたい。

一方、中央保育所については、給食の調理洗浄部門における民間委託を進めるため、年内に業者説明会を行い、来年1月中旬に応募者の受付、1次、2次の審査を経て委託業者を決定したい。

## 公共下水道の現状

11月末現在、公共ます設置件数は、606件、そのうち公共下水道への

接続件数は、158件、接続率は、約26%となっている。

公共用水域の水質保全と生活環境の改善のため、住民の方の御理解を賜りながら、下水道への普及促進を図ってきたが、多くの住民の方から加入の負担を軽減して欲しいとの強い要望がある。

また、下水道普及促進のため、板野町、北島町、鳴門市では、負担金及び助成金の改定を行い、成果を得ていることから、当町においても受益者負担金及び普及促進対策助成金制度を改定し、平成24年1月から実施したいと考えている。

## NTTドコモ災害時緊急速報「エリアメール」サービスの導入

11月から藍住町災害対策本部からの避難勧告や指示などの情報を藍住町内にあるNTTドコモの携帯電話に対し、一斉配信できるよう運用を始めている。

今後、他の携帯電話事業者についても、メールでの一斉配信サービスの予定がされているようであり、幅広い緊急情報の配信手段確保に努めたい。

## 矢上駐在所跡

矢上駐在所は、町が取得した土地を徳島県に貸与、建物は県が建設し、昭和43年から駐在所として利用されていたが、駐在所の統廃合、交番化により廃止となり、先月、この駐在所建物が取り壊しされ、町へ返却されることとなった。

今後の有効利用について、売却も含めて考えていきたい。

## 山形県河北町との交流

本年度、河北町と藍住町は友好都市20周年を迎えた。また、河北町は宮城県石巻市とも友好都市を締結しており、本年度、石巻市との締結10周年を迎えることから、河北町において藍住町、石巻市が集まり、記念式典や夏

祭り、物産品の販売などを予定していたが、3月11日に発生した東日本大震災により、記念行事は全て取りやめとなった。しかし、11月21日から22日の2日間、河北町から田宮町長、庄司議長が来町され、見合わせていた記念式典や町民号の相互交流などの交流事業を、改めて平成24年度に行いたいとの申し出があった。当町としても、さらなる友好のためにこの提案を受け入れたいと考えている。

なお、震災直後に、本町議会議員と町職員が石巻市へ義援金をお送りしていたが、この度の来町時に、亀山石巻市長からの伝言として、田宮町長から謝意が述べられた。



「まちづくりに関する協定書」調印式



河北町のさくらんぼ

# 町政のここが聞きたい

一般質問

## 介護保険制度改正に伴う藍住町の取り組み 第5期介護保険事業計画を策定するための委員会を設置し協議している



介護予防事業「元気になる運動教室」

**問** 2025年には75歳以上の人口が2千200万人に達し、それに伴い要介護者も急増すると予測されている。本町でも高齢化が進み、特養施設



西川 良夫 議員

などへの入所待ちの状況も増加傾向にある。

このような現状を解消するため、在宅の要介護者が24時間365日を通し、30分以内に駆けつけられる日常生活圏域で介護、医療、生活支援など複合的なサービスが一体的に受けられるシステムの構築が計画されている。

また、このシステム導入に向けて、在宅の要介護高齢者の生活を支えるため「24時間対応の定期巡回、随時対応型訪問介護・看護サービス」が24年度から開始され、これらの推進について、本町の方針、更に見守りサービス、介護予防などの現状についても伺いします。

**答** 本町は実情に応じた介護サービス体制が整備されてきており、今あるサービス体制で新たな国の方針に対しても当面は対応できると考える。

GPSの位置検索システム、端末機の貸与による認知症高齢者見守り事業や地域包括支援センターによる独居老人、高齢者世帯への訪問等の見守りサービスを行っている。

介護予防事業として、特定高齢者を対象に「運動機能向上教室」等を、一般高齢者を対象に「元気になる運動教室」等を実施。また、老人憩いの家では「いきいきサロン」を実施し、一定の効果が出ていると思われる。

## ごみ問題

### （粗大ごみ受入手数料見直し等）

粗大ごみの受入料金改定を  
来年4月1日より実施したい

**問** 23年度から始めた衣類のリサイクル推進については町民の皆様の積極的な御協力により、資源の有効利用、可燃物ごみの減少など成果が期待できる。現状について伺いたい。

また、身障者や高齢者などへのサービスとして実施している個別収集の状況。更に、ごみ受入れ手数料見直しの実施時期や詳細について伺いたい。

**答** 衣類は12月までに約13トンを回収し、すべて



古着類

回収された衣類

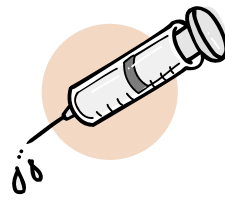
リサイクルされ、助燃剤である重油の削減や運転時間の短縮、二酸化炭素の削減などに繋がっている。1キログラム当たり1円が町の収入となっているほか、ごみの減量と皆さんの意識改革に繋がっていると感じている。体に障害のある方や高齢者世帯、介護を要する独居老人の方等には、個別収集申請書を提出していただき、個別収集を行なっている。現在31件の登録があり、増加傾向にある。

町政のここが聞きたい

一般質問

平成23年 1月現在	対象者数	初回 接種者数	接種率
小 6	201	175	87.1%
中 1	178	157	88.2%
中 2	187	165	88.2%
中 3	172	151	87.8%
高 1	190	166	87.4%
計	928	814	87.7%

平成23年9月までの子宮頸がん予防ワクチン初回接種者数と接種率



**子どもの命にかかわる  
ワクチン接種の継続を  
制度の継続については今後の国及び  
県の動向を見て判断したい**

**問** 2011年1月から、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌のワクチン接種事業が始まりました。接種費用が全額助成となり、無料でワクチン接種ができるようになりました。ワクチンで防げる感染症はワクチンで防ぐというのが世界の常識、自己

負担なしですること。  
①無料化後の3種類のワクチン接種状況は  
②来年度以降、国が補助制度を継続しない場合、町はこの制度を継続するのか  
③町が接種費用を全額負担した場合、来年度の事業費はいくら必要か

**答** ①9月までの子宮頸がんワクチン初回接種率は87.7%である(詳細は別表参照)。また、9月までのヒブワクチン接種完了率は35%、小児用肺炎球菌ワクチンは38%であり、県内平均と同じ接種率である。  
②前記のとおり  
③費用は2千820万円。



林 茂 議員

**町として中小業者に対する  
支援策はあるのか**

**町内業者ができる工事はこれからも  
最優先に指名したい**

**問** 町発注の公共工事は、地元業者優先といいますが平成21年度決算では、指名競争入札では町内業者より町外業者の受注額が約3倍となっている。不況が長引く中、町内業者へ支援策として

①木造住宅耐震診断の費用を無料にし多くの住民に受けてもらうこと  
②耐震改修に対する負担額を軽減するために町から支援すること  
③住宅リフォーム助成制度を創設し中小業者の仕事を増やすこと  
④大型工事は県外業者に発注しているが、県内業者に発注する手立てではないのか  
⑤国や県は一般競争入札を優先するよう規定しているが、町はなぜ指名入札にこだわるのか

**答** ①個人資産の形成に係るものであり、ある程度の自己負担は必要と考える。  
②工事費の3分の2以内で60万円を補助している。  
③経済波及と雇用波及の効果はあると思うが、個人資産の形成に繋がるため制度導入を見送っている。助成を考えるとすれば、県のリフォーム支援事業への協調補助になるが、町内業者に限定するのは難しいと思われる。  
④大型工事は建築実績、技術力、蓄積されたノウハウをもって県外大手に発注することにより、安全安心に施工できる。  
⑤一般競争入札は参加条件設定や資格の適否確認など極めて困難である。本町の指名競争入札でも最低制限価格又はそれに近い価格で請負契約できている。落札した業者に対し町内業者を最優先して下請にお願いできるため、今後も指名競争入札を採用したい。

その他の質問

◆ 税の滞納について

# 町政のここが聞きたい

一般質問

## ゆめタウンについて

ゆめタウン側には渋滞対策について万全の配備態勢を取っていただくよう申入れをしている

**問** 11月24日にオープンしたゆめタウンは、2000人を雇用するとのことであったが、町民の雇用数は何人か。県道徳島環状線千鳥橋とシミズ精工横の交差点は土、日曜日ゆめタウンから出る車で渋滞が起きている。特に千鳥橋交差点は大渋滞が起きている。今後は車も増え慢性的な渋滞が考えられる。町として県に対して右折車線ができ

**答** 雇用は1千700名で、うち町内の雇用数は正規職員80名、パート190名、アルバイト180名で計450名。渋滞については、今後車の流れを注視し、県へ要望したい。



離乳食教室「もぐもぐキッチン」

## 防災対策について

台風15号の被害状況に合わせた洪水ハザードマップを作成するため新年度予算に計上したい

**問** ①東日本大震災を受け、南海・東南海地震等大震災対策として、地震の想定規模、津波予測の見直し、洪水ハザードマップの見直しを国・県等の見直しに合わせて防災計画を見直すとのことであったができたのか。②災害対応について、大雨洪水災害において災害対策基本法や水防法に基づき避難準備情報、避難勧告、避難指示があるが各発令基準はあるか。また、住民への伝達マニュアルはあるか。この避難

**答** ①年内にも津波高の暫定値や沿岸部の暫定的な浸水予測が示される予定であり、この暫定的な数値により見直しを行いたい。②避難勧告等の判断伝達



小川 幸英 議員

区分について町民に理解されているか。マニュアルを作成し、参考基準は設けているが、住民の方への周知は十分ではない。防災無線、広報携帯電話のエリアメールを利用し、お知らせするようにしている。

## 子育て支援について

平成22年3月に「次世代育成支援行動計画」の後期計画を策定した



**問** 近年藍住町に住みたいと若い方たちが増えているとのことであるが、今後の本町での特色ある次世代育成支援行動計画は策定しているか。また、本町における子育て支援の拠点はどこか。

**答** 保育所の延長保育一時・特定保育、幼稚園の預かり保育、児童館での学童保育、病児一時預かり事業、0歳児養育家庭への町指定こみ袋無償配布、中学校修了までの医療費助成第3子以降保育料等無料化、就学支援、新生児訪問、育児相談、食育事業など、業務内容によって保育所保健センター、教育委員会などそれぞれが支援を行っている。

## その他の質問

◆ 商工業振興について

# 町政のここが聞きたい

一般質問

## 4年間を振り返って

優先度や財政状況、補助制度の動向などを見極めながら計画的に考えてまいりたい

**問** 任期最後の質問になるが、町長の進める施策には「町民の命と暮らし」を守る施策が見えてこない。長引く不況の中で、毎年、税収が減少する中で、町民体育館などの新たな事業は進めるべきではなく、喫緊の課題に取り組むべきではないか。

① 宅地化が急速に進む中、道路や排水の整備が遅れている。ゲリラ豪雨に備えるため町内全域の排水路の抜本的な改修を急ぐべきである。

② 近い将来、起こるであろう南海・東南海地震に備えて、町営住宅等の耐震化を急ぐべきである。

**答** ① 今年度は排水能力や系統等を検証して、どの程度の安全度を確保する必要があるのか等を検討し、来年度において全町を対象に排水に関する基本構想を構築したい。

② 耐震診断によると、敷地団地と中富団地は耐震化を図る必要があるが、

## 原子力に頼らない再生可能エネルギーへの転換を！

徳島県と県内 24 市町村が太陽光発電や風力発電などの普及促進と情報共有を図るための連絡協議会を設立している



喜田 敏夫 議員

耐震化を進めるには、多額の財源の確保が必要になってくるため、今後の財政状況や補助金等の状況を見ながら検討していきたい。

**問** 11月15日に議員、理事者、職員らと原発の安全性を確認するため伊方原子力発電所を視察した。

① 巨大な岩盤の上に立地しているので地震には強い。



愛媛県伊方発電所

② 海拔32mに新たに電源車を配備したので全電源喪失しても心配はない。

③ 原子炉の耐用年数は30年であるが、検査を受ければ、また30年は使用可能である。

等の説明を受けたが、福島第一原発事故や原子炉の老朽化などに対する危機感が全く感じられない。「町民の命と暮らしを守るため」自治体が率先して再生可能エネルギーへの転換をするべきである。

**答** 太陽光発電については、パネルの発電力の向上やコンバクト化、低価格化、軽量化、電力の安定供給などの課題があり、早急な技術革新が待たれるところである。町の施設について、今後耐久性やコスト、導入方法や補助制度などの動向を見ながら検討したい。

一般家庭への助成制度については、先に成立した再生可能エネルギー特別措置法の動向や、「県・市町村再生可能エネルギー協議会」等の状況により、今後の方向や補助金額について、近隣市町村とも協議をしながら検討してまいりたい。



太陽光発電の外灯



# 市町村議会議員

## 特別セミナーに参加

11月1日・2日に市町村職員中央研修所(千葉市)で開催され、本町議会からは1名が参加した。

議会議員 矢部秀行

1日目は、始めに「これからの政治の行方」と題して朝日新聞政治担当編集委員の星浩氏から日本政治の歩みや現状と展望について講演があった。

政治改革・小選挙区導入から15年・5回の総選挙で二大政党制は定着したか、デフレ・景気低迷が長期化する中で政策は機能しているか、野田政権発足で政権運営は変わるか、与野党関係はどうなるか、震災復興と原発事故対応の行方、外交、TPPなど、最新の情報を基にした興味深い話であった。

次に、「大震災と地域医療の連携」をテーマに宮城県涌谷町町民医療福祉センター長の青沼孝徳氏から東日本大震災における同センターの実際の活

動等について講演があった。

涌谷町町民医療福祉センターは昭和63年に町立総合病院として設置され、その後、在宅介護支援センターや訪問看護ステーション、健康管理センター、高齢者生活支援ホーム、高齢者生活支援ハウス、グループホーム、地域包括支援センターなどを開設している。涌谷町では東日本大震災による被害は比較的小さかったが、住宅全壊が130棟で、18か所の避難所に529名が避難していた。町民医療福祉センターでは透析患者39名の把握と搬送手段の確保、命にかかわる患者リストの抽出とインスリン等の配付や、医師・保健師による避難所の巡回等を行った。また、石巻日赤

病院の後方支援病院として33名の被災入院患者を受け入れた。

地方自治体は平成の大合併によって集約化と公務員削減が行われ、細部の被害状況把握や迅速・的確な支援助資配分が困難となっている。今後は、自治体規模に関係なく1.5万人から2万人規模のコミュニティを創設し、役所の支所機能を持つ施設や保健・医療・福祉・介護の総合的複合的施設を安全な場所に設け、

自家発電や情報通信手段を確保することが必要であるとのことであった。

2日目は、「地方議会の役割と改革の行方」と題して法政大学法学部教授の廣瀬克哉氏から講演があり、パネルディスカッションが行われた。現在、多くの地方議会では住民の視点から見ると議会が仕事をしているというイメージを持たれておらず、議員個人はまだしも顔が見えるが、議会という機関の存在感は薄くなっている。議会が合議制の代表機関である意義は、複数の視点から討議することができ、公開の場での

討議や議会報告会を通して論点が社会に伝わることで世論が形成され、その民意に耳を傾けながら結論を出すことである。

近年、各地で議会基本条例の制定が続いており、平成23年10月までに全国211議会(16道府県、125市、70町村)で制定され、150議会で制定方針が示されている。これは、こういった議会の役割とあり方について、「わがまちの議会はこういう議会です」と宣言するものであり、それを制度として継続させるためのものである。議会こそ住民の代表であり、地方議員の活躍に期待することであった。



編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお寄せください。



### 投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

### 本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局までお気軽にお越しください。なお、傍聴席の定員には限りがありますので、ご了承ください。

### 定例会案内

次の定例会は3月です。次号は5月に発行します。

●お問い合わせ●  
議会事務局 ☎637-3127

# わたしの一言

富吉 前田 勲さん

昨年、ブータン国王が来日しました。ブータンは世界に誇る幸福を感じる国、世界一と言われている。我が国も古来、誇れるものがあつたと思います。物や金銭が豊かになった今、道徳心、モラル、公共心等が失われていっているようにも感じられます。万引きをした町議、住所を偽った疑いのある人、職業詐称の疑いのある町議等、有権者が選んだ人たちです。

議員は町民のため、町の発展のために、もっと真剣に働いてくださることを願っています。

犬のフン害、ゴミのポイ捨て、交通のマナー、弱者にやさしい心、日本人の心、町民として誇れる豊かな心の文化を築いていく時代が来たのではないのでしょうか？



## 議会のうごき

### 11月

- 1日～2日 市町村議会議員特別セミナー(千葉県)
- 4日 ゆめタウン徳島現場視察
- 7日 板野町正副議長就任挨拶来庁
- 9日 第十堰対策促進期成同盟会 通常総会・第十堰対策意見交換会(徳島市)
- 10日 四国地区町村議会議長会 研修会(鳴門市)
- 11日 戦没者追悼式
- 14日 自治体・議会要請キャラバン来庁
- 15日 伊方発電所現地視察
- 16日～17日 町村議会議長会全国大会・徳島県町村議会議長会役員研修(東京都・福島県)
- 21日 ゆめタウン徳島竣工式・店舗見学会
- 22日 学校訪問(藍住中学校)
- 24日 ゆめタウン徳島オープンセレモニー
- 25日 板野郡町議会議長会定例会(板野町)
- 28日 議会運営委員会
- 2日 徳島県町村議会議長会理事会(徳島市)
- 5日 板野東部消防組合議会臨時議会(北島町)
- 7日 第33回藍翠苑祭

### 12月

- 9日 12月定例議会開会 議会全員協議会
- 15日 学校訪問(西幼・西小)
- 16日 12月定例議会一般質問
- 20日 12月定例議会閉会
- 21日 藍住町橋梁長寿命化検討委員会
- 22日 板野西部青少年補導センター組合議会(板野町)
- 8日 藍住町成人式
- 10日 板野東部消防組合消防出初式(北島町)
- 11日 鳴門市正副議長就任挨拶来庁
- 16日 徳島県町村議会議長会理事会(徳島市)
- 20日 議会だより編集委員会
- 26日 板野郡町議会事務局職員研修会(北島町)
- 28日 藍住西小学校創立30周年記念式典



成人式で記念品を受け取った久米絢子さんと佐々木遥香さん

## 編集後記

待ちに待った「ゆめタウン」がオープンをした。昨年、徳島新聞読者が選ぶ10大ニュースで堂々の1位に輝いた。藍住町民だけでなく、県民の期待と関心の高さの表れである。

入店者数も予想以上のようだが、店内の混雑ぶりに較べて、心配していた道路渋滞がそれほどもなく、町民の一人としてホッとしている。

また、あの震災から1年が経とうとしているが、一日も早い復興と東北の人たちに笑顔が戻ることを願っている。

本紙がお手元に届く頃には新しい議員16人が決まっていると思うが、今後4年間、宜しくお願ひします。

### 議会だより編集委員会

- |      |      |
|------|------|
| 委員長  | 奥村晴明 |
| 副委員長 | 矢部秀行 |
| 委員   | 佐野慶一 |